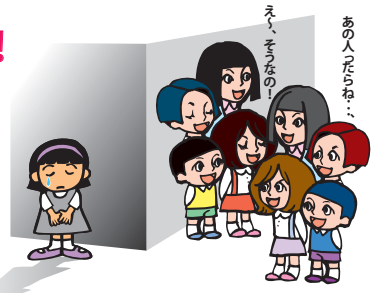


1 セクシュアルハラスメントは許しません!

職場におけるセクシュアルハラスメントとは、従業員の個人としての尊厳を不当に傷つける発言や行動など、社会的に許されない行為をさします。当社の従業員同士間やお客さまに対して、またその逆でも関係者すべてに適応します。相手の立場に立って、普段の言動を振り返り、セクシュアルハラスメントのない、快適な職場を作っていきます。



当社は下記の行為を許しません!

- ① 容姿及び身体上的特徴に関する不必要な発言
- ② 性的及び身体上の事柄に関する不必要な発言
- ③ わいせつ図画の閲覧、配布、掲示
- ④ 性的な噂を流す
- ⑤ 不必要な身体への接触
- ⑥ プライバシーの侵害
- ⑦ 性的な言動により、他の従業員等の就業意欲を低下させたり、能力発揮を阻害する行為
- ⑧ 交際・性的関係の強要
- ⑨ 性的な言動への抗議又は拒否等を行った従業員に対して、解雇、不当な人事考課、配置転換等の不利益を与える行為
- ⑩ その他、相手方及び他の従業員に不快感を与える性的言動

相談窓口

職場におけるセクシュアルハラスメントに関する相談は、各現場担当者又は次の相談窓口担当者まで連絡ください。「一人で悩まず、悩んでいる内容がセクシュアルハラスメントかどうかわからなくても、広く相談に対応しますので、安心してご相談ください。公平に、プライバシーを守って対応いたします。」



管理部 滋野 裕子(しげの ひろこ)
管理部 滋野 裕之(しげの ひろゆき)
☎ 075-871-3623

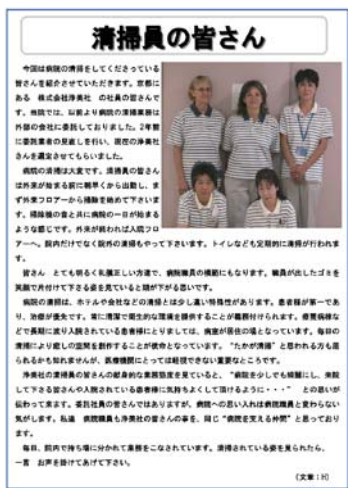


● 従業員がセクシュアルハラスメントを行った場合 ●

「行為の具体的態様(時間・場所・内容・程度)」「当事者同士の関係(職位等)」「被害者の対応(告訴等)・心情」等を総合的に判断し、処分を決定します。相談者はもちろん、事実関係の確認に協力した方に不利益な取扱いはいりません。

2 浄美社スタッフが紹介されました。

医療法人敬愛会 東近江敬愛病院の広報誌「はらはちぶ 第99号」(平成20年9月1日発行)に「清掃員の皆さん」と題して掲載されました。



「はらはちぶ」は、毎月500部程度発行され、150部を近隣の開業医の先生方や病院などに発送し、残りを院内の数箇所に設置して、患者さまや来院者に提供されています。発刊の歴史は古く、1号より更に以前の「昭和の時代」に「はらはちぶ」という名前の院内新聞が職員の手で作られていたそうです。

(はらはちぶ【100号を記念して】から一部抜粋)

文中で、「病院職員も同じ病院を支える仲間と思っている」と言っていただけで、たいへん感激しました。現場で働くスタッフにとって、この上ないお褒めの言葉であり、今後も確かな道標となるに違いありません。ありがとうございました。

また、スタッフの皆さんには、ひとり一人の日々の努力と誠心誠意の業務態度が実を結んだのだと敬意を表するとともに感謝いたします。私たち浄美社の品質方針「キレイ」に真剣です!が、お客さまと向き合いひとつの形となってお届けできるに至ったのではと思います。そして、さらなる躍進を誓いたいと思います。

(浄美社ホームページにも掲載しました。)

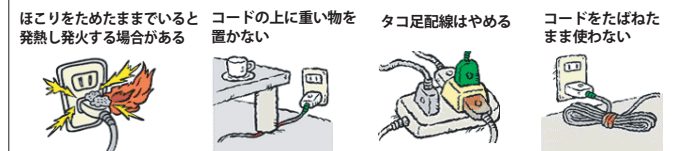
3 ヒヤリハット NEWS

ある現場で、タコ足配線のコンセントから発火!

現場Mでは、日常清掃用のモップを洗浄するために洗濯機・乾燥機を設置しています。しかし、設置場所が電源から遠いため延長コード3本をつないで使用していました。設置して3年以上経過した先日、中間のコンセントから発火。発見が早く、火事にはいたりませんでした。現場から本社への報告時、事態の重大さが伝わらず業務担当者の認識の甘さから現場に行くのが遅れ、お客さまにご迷惑をおかけしました。

- 問題点は:
- ① 延長コードの使用は、規定の許容電力(通常1,500ワット程度)を守る。たこ足配線は厳禁。
 - ② 現場での浄美社の管理責任認識が甘かった。
 - ③ 業務担当者は、事態の把握に、現場に急行すべきだった。

各現場でも、こんなことしてませんか?



- ・やむをえず延長コードを使用する場合は、二重被服の丸コードを使用のこと。
- ・掃除等で水を使用する時は感電に注意。
- ・廊下等のコンセントを使用する時は、部屋と同じ回路になっているため掃除機等を使用すると停電事故を起こす場合があるので確認する。

各現場での電気機器の使用法で、危険と思われる場合や疑問点があれば、業務担当者か本社に必ず問い合わせてください。

プロジェクト開発部 広報グループ 横田・加藤 ☎075-863-0588